

富士山：御庭・奥庭・お中道ハイキング報告

【山城】富士山

【日程と天気】2019年11月3日(日) 高曇り

【メンバー】CL 菊池・石橋・安岡・武田

【行程】

千葉(我が家発)3:30—メンバーPU—河口湖 IC—富士山スバルライン—4合目大沢駐車場—奥庭駐車場(駐車)8:59—御庭—お中道—11:27 滑沢—奥庭山荘(昼食)13:40—奥庭遊歩道散策—奥庭駐車場—須走 IC—グランドキャニオン見学—帰葉



・富士山には色々な楽しみ方がある。古希の今年の5月25日、登頂山スキーを成功させたが、体力的にはギリギリの挑戦であった。数年前より五合目付近や五合目以下に興味湧き始め、以前より気になっていた奥庭・御庭・お中道に行ってきた。今回の主たる目的は、黄金色に輝くカラマツの黄葉と新雪を頂いた富士山頂をショットに



納めるということと、大沢崩れに向かうお中道を歩いてみることである。11/3 は絶好のハイキング日和とはいかなかったが、まあ何とか大丈夫であろうと前日に続き未明(3:30)のわが家を出発した。5時からスバルラインは全線営業中であり、高曇りの下、新雪の吉田大沢を望みテンションがアップした。スバルラインに入ると紅葉が美しい、早い時間のためまだ車は少なく、停車して写真撮影した。この日は余裕があるため、まずは4合目大沢駐車場の展望台からカラマツ林の向こうに豪快に連なる南アルプスの景色を楽しんだ。



- ・トイレのある奥庭駐車場(2240m)に駐車、少し歩いて御庭駐車場から遊歩道に入って行く。御庭駐車場は山スキーで2回ほどGWに利用している。溶岩の上に整備された遊歩道です。



さあ、いよいよ憧れの黄金色に黄葉したカラマツと新雪の富士山頂の写真撮影が始まりました。これほど高いエリアでのカラマツの幹は横に広がって格好良い。先行しているハイカーは数組、降りてきたPは可愛いペットを連れている。つい抱っこがしたくなったIさん、満足の記念撮影で



す。奥庭・御庭は第2火口列というエリアで変化ある地形が楽しめる



遠景で見る富士山は整っているが、現地には複雑で魅力的な地形が多く存在しているようだ。先行Pに続いて火山礫の斜面を下り、対岸の遊歩道に向かった。



カラマツの黄葉と新雪富士のコラボを楽しみながら大沢崩れに向かうお中道に向かった。



南アルプスの山々から富士五湖(本栖湖) へのグラデーションは素晴らしい。



大沢崩れに向かうお中道はここから入って行くがやや分かりにくい。シラビソなどの樹林帯をトラバース気味に進む。シラビソについての看板があり、こういう字を書くのかな



あと納得しながら進んだ。
また富士山の四～五合目付近はシャクナゲが多く、開花の時期には素晴らしいであろうと考えながら進むと、狂い咲きした一株を Y さんを見つけました。





・間もなく大沢崩れまで 25 分の滑沢に到達。見上げるとこんな感じです。下方はこんな感じです。沢が崩落で深くなっており、大沢崩れへの登山道も崩れており、これ以上進むのは無理のようです。先行Pと一緒に記念撮影して奥庭に帰ることとしました岩に臨める南アルプスの山名が刻んであり、以前はお中道を歩く方々が多かったことが偲ばれた。





- 昼食はちば山の会の H さんのお気に入りでも何回も宿泊している奥庭山荘でけんちん汁つき山菜定食を食べました。味もよく、雰囲気も良く大賑わいの山荘で大満足でした。昼食後は奥庭一周の散策路です。



奥庭はかなり広い溶岩台地で黄金色のカラマツと新雪富士の絶景を欲しいままにできます。ついシャッターを押しまくってしまいました。



家族ハイクに最適ですね。絶景を数枚楽しんでください。富士山に何回か来ている方なら、この絶景を一度は経験してください。しつこいようですがもう一枚。大満足の奥庭でした。

・スバルラインから須走 IC に移動、(和製) グランドキャニオンに他のメンバーを案内した。今年の 3/5 にスラッシュ雪崩と土砂災害でアザミラインの開通が遅れ、グランドキャニオンの状況が気になっていた。これが今回の現地の状況であり、以前に比べ深くえぐられており、沢床には降り立つことができません。



これは 2017 年の同時期にメンバーを案内した時の写真ですが 3~4 m 緩やかに下って行けば容易に沢床に降り立つことができました。このエリアでは数年ごとに土砂災害でアザミラインに被害が出るようですが、今回ほどひどい状況はなかったようです。自然の恐ろしさを再認識させられました。

